

CAREER  
DESIGN

13

達成感と、  
その先にある笑顔のために

仕上がりは、自分の目で確認

仕上がった柱を手に取り、目を凝らす。曲がっていないか、長さは適切か、加工位置にズレはないか。「よし、完璧だ。」

建築用木材を加工・設計するわが社。木同士を組めるように加工するプレカット工場に勤めて4年になる。

4月からは「柱」を担当。床材の「パネル」や、家の構造を補う「羽柄」を経て、3つ目の部署になる。

1日に作る柱の数は200本以上。そのため、「効率と正確の両立」を常に考えている。

木材のねじれや節を見極め、加工機に投入。加工された柱をチェックし、リフトで積み上げていく。もし落としてしまったら、商品として使うことはできなくなる。正確なりフト操作を行いながらも、次の作業の段取りを考える。

めまぐるしく、神経を使うが、1日の終わりに積み上げた柱の山を見上げると、達成感が込み上げてくる。「このように、誰かの笑顔がある」。そう思う



## 村下直哉

2017年入社。

休日は服を買いに出かけたり、市内のラーメン店を巡ったりして過ごす。

後藤木材株式会社

【業種】木材・木製品製造業  
(家具を除く)

500-8447  
岐阜市大倉町12

<https://www.houscrum.co.jp/>



と、明日も頑張れる。

道路建設の仕事をしている父の姿に憧れてこの道を選び、正解だった。「自分の手で作ったものが人の役に立ち、喜んでもらえる」。そんなものづくりの醍醐味を知ることができたから。

いつかは、「すべての工程に精通したエキスパート」になりたい。そのために、目の前にある一つ一つをしっかりと積み上げていく。この柱のように。